

自治連 あさか

朝霞市自治会連合会

平成22年
2月1日
第5号



ごあいさつ



朝霞市自治会連合会会長

島 礼 次

朝霞市長

富 岡 勝 則

自治会連合会の皆様におかれましては、日頃から地域住民と行政の架け橋として、市政全般にご協力を賜り、また、自治会活動の推進を通して住民自治の発展に貢献していただきしておりますことに深く感謝を申し上げます。

地域住民が互いに協力して防犯・防災、地域福祉、環境美化などの活動に取り組むことによって連帯感が強まり、安心で活気のある地域を構築できるものと考えております。市といたしましても、今後も市民の皆様のご協力をいただきながら、「生き生きタウン朝霞」の実現に向け、積極果敢に諸施策を推進してまいります。

各自治会の特色ある活動を掲載したこの「自治連あさか」が多くの方に愛読され、自治会活動に対する理解が深まることをご期待申し上げますとともに、朝霞市自治会連合会のますますのご発展を祈念申し上げまして、あいさつとさせていただきます。

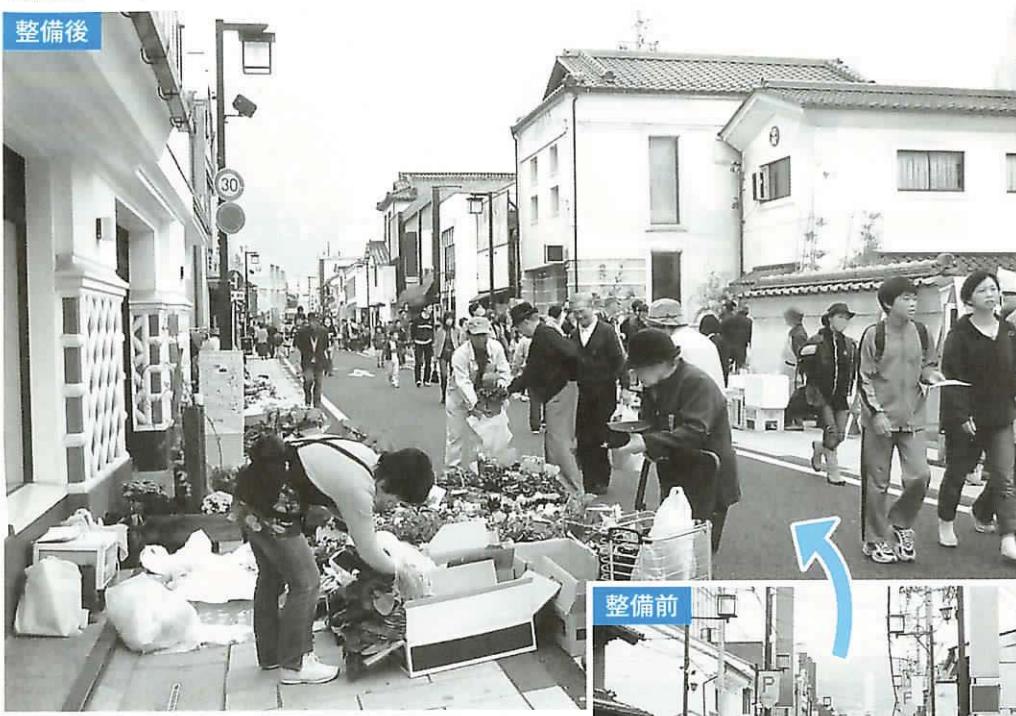
自治会連合会の皆様には、日ごろから活動にご支援とご協力を賜り心から感謝申し上げます。皆様のおかげをもちまして、昨年も自治会連合会の行事を無事終了することができましたことに、この場をお借りいたしまして厚くお礼申し上げます。

さて、昨今、各地で地震が頻発しております。また、犯罪も多発しております、地域においてもひつたくりや不審者情報が相次いで報告されております。こういった防災・防犯対策が強く求められる時代にこそ、自治会や町内会のような地域でのつながりや助け合いが大きな意味を持つてくると思います。

本年におきましても、行政・議会との連携を密にし、自治会連合会として地域の様々な課題に取り組んでまいりますので、皆様のより一層のご支援、ご協力をお願いいたします。 結びに、市内の各自治会・町内会のますますのご発展と会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、ごあいさついたします。

長野県 松本市 地域主体の『街なみ環境整備事業』

電柱類の地中化、道路整備、緑地化…蔵のある街なみづくりで活気を取り戻した中町地区



松本市の「街なみ環境整備事業」は、地域の方々が主体となって自分たちのまちをどのようにしていくかを決め、行政とともにまちづくりを進める事業です。

事業の進め方は、はじめに地域の皆さんと行政が一体となって、基本的にどのようなまちを作っていくのかを検討し、そのまとめとして整備方針を策定します。次に、地区内の皆さんのが自分たちがまちを作っていくうえで何をしていくのかを話し合い、自主的に統一事項を決め、まちづくり協定を作ります。整備方針、まちづくり協定により定めたまちづくりをするために、具体的にどのような整備を実施するのかを整備計画により定めます。

この事業により整備された地区の一つである中町地区では、中町(蔵のある)まちづくり事業として、電柱類の地中化・道路の整備を行い、歩道の一部に藤棚やベンチを設置したり、通りの小さなスペースにも小さな緑地を設けるなど、まちに緑を増やす工夫をしました。また、まちづくり協定に基づき、建物景観の誘導を通じて蔵のある街なみづくりを進めました。

整備の結果、歩行者天国や朝市などのイベントも開催され、活気を取り戻しています。また、沿道商店の空き店舗率も0%で、順番待ちの状態が続いており、商店街としての集客率も高くなりました。

▼長野県松本市を訪問し、松本市での「街なみ環境整備事業」の取り組みについて担当者から説明を受け、この事業により整備された街なみを視察しました。

▼当日はあいにくの悪天候だったため、バスの車窓からの視察となりましたが、住民と行政が協働で取り組んだというまちづくりは、蔵のある風景や電線類を地中化した景観など、地域の特性が生かされた街なみが形成されていました。

▼翌日には、山梨県南アルプス市のエルテック株式会社南アルプス工場を訪れ、汚泥や食品加工工場から排出される食物残さをリサイクルし肥料化する工場を見学しました。

自治会長研修会 —まちづくり—

朝霞市自治会連合会では、自治会長研修会として、毎年テーマを決め先進地視察などを実行っています。
今年度は、テーマを『まちづくり』とし、11月17日～18日に開催しました。

長野県松本市の街なみ環境整備事業の流れ

街なみ環境整備方針策定・承認
(街なみ環境整備促進区域を決める)

まちづくり協定等

街なみ環境整備計画の策定

地区施設の整備
(道路、集会所、公園等)

住宅等の整備
(修景施設に補助)

自治連

あさか



市長を囲む

意見交換会

朝霞市自治会連合会では、毎年、「市長を囲む意見交換会」を開催しています。これは、自治会・町内会長と市長および市執行部とが意見交換をすることで、よりよい自治会運営を目指すことを目的としています。

今年度も10月21日に朝霞市役所において開催し、34名の自治会・町内会長が出席しました。自治会連合会側から市政について12問の質問(右表参照)を行い、市執行部からご回答をいただきました。

以下に、自治会からの質問と市の回答について、一部抜粋して紹介いたします。

質問順	提出者	質問内容
1	弁財町内会	「三原公園」に関する提言と陳情
2	三原町内会	廃棄物(粗大ゴミ)の対応について
3	三原町内会	空き地の雑草について
4	三原町内会	公園への倉庫設置について
5	溝沼第一町内会	黒目川に桜の木を植えてほしい
6	上内間木町内会	雨水管等の清掃について
7	下内間木町内会	道路整備について
8	浜崎南親和会	震災時の情報拠点について
9	浜崎南親和会	歩道の整備について
10	浜崎南親和会	市役所正面玄関チャイムについて
11	霞ヶ丘東親和会	災害における市からの情報確認について
12	霞ヶ丘親睦会	さいか幼稚園前の交差点に信号設置の件

災害時における
市からの情報確
認について

Q₁

災害時には、いち早く情報を知ることが重要と考えますが、朝霞市と「すまいるエフエム」との災害応援協定の内容は具体的にどのようなものですか。また、災害時における「すまいるエフエム」からの情報内容と優先度を具体的に教えてください。

A₁

災害時の市民への情報伝達は、防災行政無線や広報車などにより行うこととしておりますが、それに加え放送局により情報提供を行うことは、さらなる情報伝達体制が確立でき、被害の抑制につながるため、市内に開局しているコミュニティ放送事業者の「すまいるエフエム」と災害時緊急放送に関する協定を締結しています。

放送の主な内容としては、震災時には、避難する際の注意事項や避難所の開設状況、また、食糧および飲料水の供給状況など生活支援に関する情報、水害時には、避難勧告などの避難情報や河川の越水などによる被害状況を提供するよう考えており、このほかにも災害の種類や規模などに応じて、必要な情報を提供し、放送することとなっております。

優先度については、避難所開設場所・ライフラインに関する情報・気象情報などを通常放送より優先して放送することとなっております。

雨水管等の
清掃について

Q₂

上内間木地域の内水対策を実施していただき、水害も無くなり安心していたところ、最近は少々の大雨でも、県道、市道などで雨水があふれ、水はけが悪くなっています。
つきましては、雨水管の点検および清掃を定期的に実施していただきたいと考えております。

A₂

上内間木地域の雨水排水対策につきましては、従前より下水道の整備や水路改修などを実施するほか、排水機場などの設置に努めてきましたが、内間木地域は荒川や新河岸川に接した低地で、平坦な地形である地域特性に加え、田畠の埋め立てなどによる雨水の浸透・遊水的機能の減少により、集中豪雨時には道路冠水などが発生しやすい状況になっています。

最近は少々の大雨でも、県道、市道などで雨水があふれ、水はけが悪くなっているとのことですので、早急に現地調査して対応するとともに、今後も定期的に点検し、必要に応じて清掃などを実施したいと考えております。

なお、県道につきましては朝霞県土整備事務所に同様の要望をしてまいります。





各地区の町内会活動報告

第一区

シャルマンコープ第二朝霞自治会

会長 川野紀代美

念願の防災倉庫設置

大規模修繕を機に水道を直結給水に変え、貯水タンクが不要となり、跡地にかねてから要望の多かった防災倉庫を設置してきた。今まで集会室や機械室など分散して保管していた防災グッズを早速移し替えることができた。折から海の向こうで大地震に津波と災害のニュースが飛び込んだ。毎年訓練は実施するが、いざとなつたらどう動けるか不安もある。

幸い私たちの住まいは日ごろから「あいさつの実施」を合言葉にコミュニケーションを取っている。「お互いに干渉し過ぎず」、しかし「事が起きたときは全員で助け合いを!」は着実に実行されている。自治会結成から20年、一度の火災もなく盗難や強盗などの犯罪は1件も起きていません。住民の親睦が犯罪抑止

の役割をしていると自慢したい。
災害時だけでなく、今後の高齢化社会を見据え孤独な住人をいかに支えるか、みんなの共通課題に取り組む優しい自治会でありたいと活動している。

している町内会です。

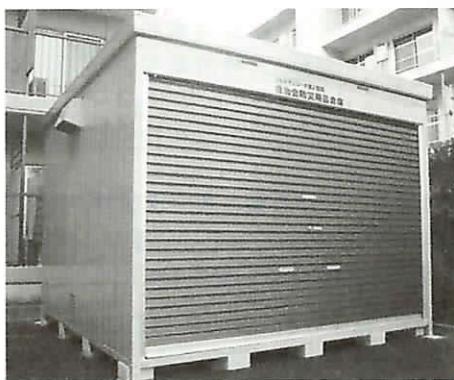
発足は昭和33年ごろ、雑木林の土地に一戸建の60世帯の住宅が建設され、これを基礎に住民一同町内会を作ろうという話が持ち上がり、有志の努力により町内会が発足し、若松町内会が創立しました。

現在928世帯の会員を擁し、地区を8地区60班に編成して会員の理解と協力により運営をしております。

昨年度50周年を迎えて、役員一同心機一転活動をしております。本年度は、会員の要望による事業の推進と会員相互の親睦を図り、ふれあいのある町づくりを事業目標に活動を計画・実行しております。

毎週土曜日には、囲碁・将棋・卓球を会員の方々に楽しんでもらい、介財市民センターのシルバーサロンでの接待や、盆おどりを地域住民のコミニケーションを図る目的として活動を続けております。また、年1回の町内会員を対象としたバス旅行を実施しております。

高齢者に対する福祉活動として、



▲設置された念願の防災倉庫

第二区

若松町内会

会長 伊藤五季

町内会発足 50周年を迎えて

当町内会は、朝霞五小を軸に展開



▲町内会発足50周年を祝って

敬老の日には些少ですが記念品を贈呈し、市の敬老会には役員にて送迎を行っております。
平成18年若松防犯パトロール隊を結成し、活動を始めて3年が経過、週1回金曜日に役員によるパトロール活動と町を明るくする防犯灯の維持管理を継続して実施しております。
これら運営・活動ができるのも常に役員がボランティアの気持ちで活動している結果だと思います。

最近、町内会に加入する世帯が少なく、また隣り近所との連携が乏しくコミニケーションが少なくなつたと言われていますが、今後も町内会としては種々の活動を通じて地域住民の交流を深め、事業を展開していきたいと思います。

自治連 あさか

溝沼連合町内会は、溝沼第一町内会から第二、第三、第四、第五、下町内会、住吉町内会の7つで構成されています。その中の、第一、第二、第三、下町内会が、1年交代の持ち回りで連合会を運営しております。

連合の主な行事である納涼盆踊り大会、鳴子踊り、市民体育祭などは、各委員会を作りその委員会が中心となつて運営にあたります。

また、これは別に「溝沼連合町内会自主防災会」も組織されており



▲災害に備えた小学生の「宿泊体験」

ます。会長は連合町内会長、副会長は他の町内会長が就任します。その下で運営委員会を設け、婦人会、青年部、消防団、消防団OBなどが協力して諸事業の運営をしています。

今年も、第十小学校の協力のもとで、小学生を対象に災害時を想定した「宿泊体験」の第三回目を(昨年度は市の防災訓練があつたため取りやめ)実施しました。市長にご臨席をさせていただき体育館で開校式を行い、「班」編成をしてから子供たちが食べる「カレーライス」を、子供たちが自ら作りおいしそうに食べました。その後、夜はキャンプファイヤーをして楽しんでから体育館で宿泊をしました。

婦人会は大人たちのカレーを作り、青年部の人たちはひと晩中寝ないで朝まで子供たちを見守ってくれました。

翌朝は6時に起床してラジオ体操、防災クイズを行い、その後非常食アルファ米の朝食をとりました。最後のメニューとして、消防団と消防団OBの皆さん方の協力で消火訓練を行いました。子供たちは戸惑いながらも喜んで消防器の操作をしていました。その後、体育馆を掃除して、宿泊体験の感想文を書いてから解散しました。一人のケガもなく、病気も出さず関係者の皆さん方のご協力で無事に終了しました。

第三区

溝沼第三町内会
会長 塩味好郎

溝沼連合町内会の 行事運営の紹介

今年も、第十小学校の協力のもとに、小学生を対象に災害時を想定した「宿泊体験」の第三回目を(昨年度は市の防災訓練があつたため取りやめ)実施しました。市長にご臨席をさせていただき体育館で開校式を行い、「班」編成をしてから子供たちが食べる「カレーライス」を、子供たちが自ら作りおいしそうに食べました。その後、夜はキャンプファイヤーをして楽しんでから体育館で宿泊をしました。

富士見町内会は他の親元から離れて一人で参加をし、いつも遊びなれた友達以外の人たちとも仲良く共同作業をしながら過した事は良い経験であり、夏休みの一一番の思い出になつたことだと思います。

第四区

富士見町内会
会長 相ノ谷昌男

防犯の意識を 地域で高める

富士見町内会は市の中心部に位置し、昭和28年3月に世帯数324世帯でスタート、今年で57年が経過し今日に至っています。これも偏に先人のたゆまぬ努力と、地域を愛したたまものと日々感謝をさせていただいております。

さて、昨今地域社会の治安の悪化が見られる中、富岡市政が地域の安全安心のまちづくりに取り組み、従来の市の機構改革を行つて、今まで別々の機構であつた防犯分野と消防防災分野を組織変更して危機管理課を設置し、市民の負託にこたえて精力的に活動し、防犯防災対策に取り組んでいることは周知のこととござります。そして、市民の安全を守るべく、また犯罪を抑止すべく、平成18年7月に防犯パトロール隊49団体がスタートし、現在62団体が町の治安に貢献しております。



▲町内会で作成した振り込み詐欺防止のシール

富士見町内会は、4区7団体による朝霞駅南口、東口周辺地域の防犯パトロールを平成8年より行い今日に至っております。の中にあつていたいる振り込み詐欺の被害について内における被害金額が3千500万円を超え、埼玉県内では10月末で6億3千800万円を超える多額の金額が詐取されております。これは家族への愛情を利用したオレオレ詐欺をはじめとして、還付金詐欺、架空請求詐欺、融資保証金詐欺などを使った社会を食いつぶにしております。その被害に遭わぬためにと富士見町内会では、「ちょっととまて、その電話は、要注意」のシールを作成し、全世帯へ配布して電話機に貼つてしましました。このシールの作成に当つただけ被害に遭わぬようお願いいたしました。

ては危機管理課および地域づくり支援課の協力をいただいたことによるものです。これからも町内会の主たる活動である防犯防災活動を推進してまいります。

第五区

栄町町内会

理事 石井徳太郎

町内会活動に参加して

私が町内会の活動に顔を出すようになつて、まだ数年である。私が住んでいるマンションを代表しての参

加なので、町内会とマンション管理組合理事会(自主管理)との橋渡し役は言うまでもない。今は、マンションの理事会や居住者に、町内会の活動内容を伝えて理解してもらえるよう努めている。

だが、マンション居住者は町内会

活動にはあまり関心があるようには思えない。その理由の一つが、町内会費の納入方法だと思う。

町内会理事会の議事録が出れば、それをマンションの掲示板に張り出していくので、ちゅうちょしているところである。

収書発行の手数を掛けてしまうこと



▲地域の安全を守る防犯パトロール隊

第六区

東町内会

会長 内田孝造

地域の融和を目指して

東町内会は、朝霞駅東口の都民銀

行の先から北東に黒目川付近まで細長く広がり、畑や緑も多く残されている地域であります。またこの地域には、国の重要文化財である旧高橋家住宅をはじめ、金剛寺の山門など歴史的建造物も存在しています。

現在会員数は約1300世帯で、

地域の融和と良好な生活環境維持の

ために、23人の役員が中心となって、多くの事業を行っています。その中

で主な事業と活動を紹介いたします。

まず7月には、恒例となつていま

す納涼盆踊り大会を開催していま

す。地元の鳴子チームも参加して、

出店なども町内会が中心となつて運

営し、手作りの大会として楽しんでいます。

この問題はかなりクリアできるので

はないかと考えた。しかし、これを一旦実施すると、私の後任者にも領

人が『ご苦労様』と声を掛けてくれることが少しずつ増えたような気がしている。ありがたい事だ。
地道な活動を絶やさず続けていくことが、いま一番必要なかも知れない。

防犯パトロール中、通りすがりの人たちが豆をまき、楽しんでいます。子どもたちが元気で過ごせるよう願っています。

12月には、もちつき大会を開催しています。もち米約3俵を機械でついています。子どもたちには白と杵でもちつきの体験も実施し喜ばれています。

根岸台児童遊園から岡の氷川神社まで行き、神主からおはらいを受け、交通安全などを祈願し、これからも子どもたちが元気で過ごせるよう願っています。

10月にはみこし祭りを行つていま

す。子ども神輿と大人神輿を担いで、



▲町内を練り歩く子ども神輿

自治連 あさか



▲盛り上がった親睦カラオケ大会

行っています。
これからも、事業の継続は必要だと思いますが、役員の高齢化が進んでいるため、若返りを図りながら、町内会の運営に努めていかなければと考えております。

第七区 宮戸立出町内会 会長 塩田惣一

去る10月25日、宮戸市民センター3階町内会館にて、第1回目を開催いたしました。

当時は小雨模様の天候にもかかわらず、会員多数の出席をいただき、盛大に盛り上がって多くの町内の皆様に大変喜んでいただきました。例年この時期は日帰り旅行が恒例でしたが、今年は少し趣きを変えて、皆様も高齢期に近づきましたので近く

で何か行事を行えないかと何度も役員会を開き考えた末、今回のカラオケ大会に決まりました。

結果的に皆様には好評のようで、役員一同喜んでおります。

これからも新しい役員さんに期待をし、明るい町内会を目指したいと思っております。

第八区 浜崎団地自治会 会長 松田忠男

自分たちの町は自分たちで守ろう

浜崎団地は、東上線朝霞台駅と志

木駅の間の線路沿いにあります。15階建て3号棟からなる1000世帯近い方が生活している団地です。昭和60年代はお子さんも多く、子供育成会が中心の行事が多く行われていました。62年に新しく自治会が発足

して、年間行事も、親子運動会、ボウリング大会、七夕まつり、納涼盆踊り大会、やきいも大会、クリスマス会、もちつき大会と数多く行つてきました。自治会は任意団体であり、居住者の引越しも多く、入れ替わりも激しくて役員さんも少なくなり、今では夏まつりともちつき大会のみになりました。親睦を深めるために皆さんに協力していただきまして楽しくにぎやかに行っています。イベントによつて少しでも防犯に役立つております。



▲自治会手づくりの夏まつり



自治会・町内会は、地域の結びつきを深めながら、安心で安全な地域づくりを目指してさまざまな活動をしています。あなたの参加をお待ちしております。

自治会・町内会に加入するには

ご近所さんにおたずねの上、自治会長・町内会長にお問い合わせください。

平成21年度朝霞市自治会連合会役員

役職	名前	団体名
顧問	金子 好隆	社会福祉協議会長
会長	島 礼次	向山自治会長
副会長	梶原 孝男	下の原町内会長
副会長	田沼 貢	桜ヶ丘町内会長
副会長	伊藤 允光	浜崎上町内会長
計画会員	岡崎 和広	霞台町内会長
計画会員	松田 忠男	浜崎団地自治会長
理事	井上 剛男	上の原町内会長
理事	塙野 靖春	膝折町内会長
理事	高橋 優	下の原南部町内会長
理事	浅川 俊夫	溝沼第二町内会長
理事	塙味 好郎	溝沼第三町内会長
理事	海野 進	コンフォール東朝霞自治会長
理事	谷内 周平	栄町町内会長
理事	内田 孝造	東町内会長
理事	醍醐 清	田島町内会長
理事	新川 紗子	浜崎南親和会長
監事	室谷 外喜男	三原町内会長
監事	星野 隆	溝沼第一町内会長

●広報委員会名簿

委員長	自治会連合会副会長	允光 孝男	藤嶋 孝一郎	在職 6年
副委員長	自治会連合会副会長 兼2区 下の原町内会会長	伊藤 梶原	徳永 二	在職 3年
自治会連合会	会長	島 田沼	比留間 達雄	在職 2年
自治会連合会	副会長	松本 星野	藤嶋 孝一郎	在職 2年
1 区	膝折団地自治会	海野 岡崎	徳永 二	在職 13年
3 区	溝沼第一町内会	岡崎 橋本	比留間 達雄	在職 8年
4 区	コンフォール東朝霞自治会	橋本 醍醐	藤嶋 孝一郎	在職 13年
5 区	霞台町内会	醍醐 松田	徳永 二	在職 13年
6 区	岡町内会	松田	比留間 達雄	在職 7年
7 区	田島町内会			
8 区	浜崎団地自治会			

※4区選出の広報委員であった前本町霞台町内会長の種谷雄彦様は、会長在職中の平成21年2月21日にお亡くなりになりました。謹んで、ご冥福をお祈りいたします。

自治連あさか第5号の発行となりました。各地区の自治会・町内会が防犯防災、あるいは住民同士のふれあいの場づくりなど、明るく住みよいまちづくりのために活動している状況が掲載されています。住民同士があいさつを交わしている地域は、空き巣などの發生件数が少ないと聞きます。近ごろは、自治会・町内会の会員加入率が減少傾向にあり、地域のつながりも薄くなっています。このことが話題に上がります。本紙が街と人、人と人のつながりにますます活用されることを願っています。

編集後記



退職自治会長

この紙面で、昨年度をもつて退職された自治会長の皆様をご紹介します。
(敬称略)

在職 13年	藤嶋 孝一郎	昭和台町内会	在職 6年	蕪木 常治
在職 13年	徳永 二	浜崎親交会	在職 3年	須田 守男
在職 8年	比留間 達雄	広沢町内会	在職 2年	荻原 久雄
在職 7年	池谷 勝雄	膝折町内会	在職 2年	樽松 太郎
			在職 1年	ローリエ朝霞台自治会
			在職 1年	中央町内会
			在職 1年	下内間木町内会
			在職 1年	県営朝霞幸町団地自治会
			在職 1年	ローリエ朝霞台自治会
			在職 1年	中央町内会
			在職 1年	下内間木町内会

表紙の写真

平成21年5月22日、市民会館で自治会連合会定期総会が開催されました。

在職13年の藤嶋孝一郎様、徳永二様をはじめ、在職2年以上で退任された方に、市長・連合会長の連名による感謝状と記念品が授与されました。

平成20年度事業報告、決算報告および監査報告、平成21年度事業計画、予算案について審議され、すべて原案どおりに可決承認されました。